

**事業計画書・収支計画書 概要版（議会説明用・公表情報）**

施設名 新潟市マンガ・アニメ情報館及び新潟市マンガの家

<p><b>団体名</b></p>	<p>にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体</p>																
<p><b>1 基本的な運営方針等</b></p>	<p><b>(1) 事業理念・運営方針</b>                  にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体の各構成団体は、いずれも新潟市内に本社を置き、地元新潟市とともに市民の皆様にて育てて頂き歩んできました。新潟市マンガ・アニメ情報館及び新潟市マンガの家の運営に当たっては当施設の運用実績を活かし、多種多様なイベント・講座を実施しつつ、新潟市内の各種施設や団体、住民等と連携し、市民との協働による「マンガ・アニメのまち にいがた」の実現に取り組むべく邁進します。また、公の施設として、誰もが公平・平等に安心して利用できる施設としたうえで、お客様目線に立った質の高いサービス、プログラムを提供することで、施設の賑わいを創出し利用者増を図り、以て、新潟市アニメ・マンガ情報館及び新潟市マンガの家が新潟市の文化活動の振興に資するとともに、新潟のマンガ文化及びアニメーション文化の市内外への発信、新潟市の観光交流の推進並びに地域活性化のフラッグシップとなることを目指します。</p> <p>・過去の入館者実績（新潟市アニメ・マンガ情報館及び新潟市マンガの家合計）</p> <table border="1" data-bbox="478 715 1751 825"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25 年度</th> <th>H26 年度</th> <th>H27 年度</th> <th>H28 年度</th> <th>H29 年度 (見込み)</th> <th>5 年間計 (見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入館者数</td> <td>129,473</td> <td>144,038</td> <td>131,149</td> <td>170,742</td> <td>140,000</td> <td>715,402</td> </tr> </tbody> </table> <p align="center">※情報館の開館は H25 年 5 月                      ※H28 年はおそ松さん効果</p> <p><b>(2) 指定管理者申請の動機、意欲及び抱負等</b>                  前述の通り、にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体の各構成団体は、地元新潟市とともに歩んでおり、その企業活動の根本は「地元新潟市の発展に寄与する。」ことに他なりません。新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家は、新潟市におけるマンガ・アニメ文化の発信基地としての役割を持つことを十分に認識し、特に企画展においては他県の類似施設との連携を強化しつつも、新潟独自の特色ある企画展の招聘・作成に努め、県外及び海外からのインバウンド効果の高い施設を目指します。新潟のマンガ及びアニメーション文化を次世代に継承すると共に発展させることにより、市民の文化活動の振興に資するとともに、これらの文化を市内外に発信することで、新潟市の観光交流の推進及び地域の活性化を図ることを目的とします。また、マンガ教室、アニメ教室を開催することにより、若年層のマンガ・アニメ啓発に努め、新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家両施設の機能・特徴との相乗効果を生み出すことで、無限の可能性を引き出し、地元新潟市の益々の飛躍に確実かつ着実に貢献できるものと確信しています。</p> <p><b>(3) 中期計画、長期的展望</b></p> <table border="1" data-bbox="478 1314 1944 1412"> <tr> <td align="center"> <b>新潟市マンガ・アニメ情報館 新潟市マンガの家</b> </td> <td align="center"> <b>両館合わせて 5 年間で 720,000 人超の入館数を目指します！！ また、10 年後には両館合わせて年間 150,000 人超の入館数を目指します！！</b> </td> </tr> </table> <p>新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家の機能・特色を発揮した多様なイベント・講座の実施による認知度の向上、利用者数の増大を図ります。また、関連各種団体との連携・協力を密にし、新たなサービスの研究・開発・育成を促進することで、両施設の機能強化を図り、新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家のさらなる賑わいを創出するとともに、それらを国内外に発信し、新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家への益々の利用者増を実現し、さらには新潟市の交流人口の増加を図ります。また、アニメスタジオ、ゲーム製作会社、フィギアメーカーまでを目標とし、マンガ・アニメ等のコンテンツ制作を積極的に支援するための「アニメ・マンガ特区」の設立に向け、官民一体で取り組むことに尽力し、新潟市に多くのクリエイターの活動拠点を設けるための環境整備に努めます。</p>		H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度 (見込み)	5 年間計 (見込み)	入館者数	129,473	144,038	131,149	170,742	140,000	715,402	<b>新潟市マンガ・アニメ情報館 新潟市マンガの家</b>	<b>両館合わせて 5 年間で 720,000 人超の入館数を目指します！！ また、10 年後には両館合わせて年間 150,000 人超の入館数を目指します！！</b>
	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度 (見込み)	5 年間計 (見込み)											
入館者数	129,473	144,038	131,149	170,742	140,000	715,402											
<b>新潟市マンガ・アニメ情報館 新潟市マンガの家</b>	<b>両館合わせて 5 年間で 720,000 人超の入館数を目指します！！ また、10 年後には両館合わせて年間 150,000 人超の入館数を目指します！！</b>																
<p><b>2 事業計画</b></p>	<p><b>(1) 入館者サービスに関する事業計画</b>  <b>(ア) 新潟市マンガ・アニメ情報館</b>                  幅広いアニメ・マンガファンのための情報基地として機能します。                  ①常設展示コーナー                  魅力的な展示コーナーを展開し、新潟市アニメ・マンガ情報館が新潟市内はもちろん、全国・海外のマンガ・アニメファンのための情報発信基地をメインコンセプトとした施設運営をします。                  ②企画展示コーナー                  現指定管理期間では年平均 8 回の企画展を開催して参りました。この開催実績に基づき、今後も人気のある作品やジャンルなど目まぐるしく変化するコンテンツの動静を分析し、様々な出版社・イベンターなどと連携し、年間を通して老若男女を問わない幅の広い層に楽しんで頂ける施設を目指します。また、海外で人気の作品を取り上げた企画展を開催することによるインバウンドに向けた取り組みを目指します。                  ③ミニシアター                  施設の設置意義を鑑みた作品の上映や、企画展の映像演出に使用することにより、来場者が満足する企画・イベントを実施します。また、企画内容を鑑みてミニシアターをマンガ家等のサイン会場、また作品展示エリアとして利用することにより、大型施設並みの作品展示を可能にする等、フレキシブルなスペースとして活用いたします。                  ④交流体験スペース・閲覧コーナー                  新潟ゆかりのマンガ家等によるトークイベントやサイン会を実施し、交流スペースで実施するイベント・企画を通して来場者にアニメ・マンガの楽しさや、新しい楽しみ方を発信します。  <b>(イ) 新潟市マンガの家</b>                  「作家の為の支援サポート施設」と位置付け、はじめてマンガ制作に携わる初心者からセミプロ作家まで、幅広い人を対象にした「作家サポート施設」をメインコンセプトとした施設運営を行います。                  ①常設展示コーナー                  「地元ゆかりのギャグ作家のアミューズメント施設」として位置づけ、既設の展示物のほか、約 10,000 冊のマンガコミックスを収蔵した「マンガの部屋」のコーナーを拡充、PR に努めていきます。                  ②企画展示コーナー                  新潟市マンガ・アニメ情報館の補完機能としての企画展を開催します。「新潟ゆかりの作家」「後世に伝えたい作品」「世代に伝えたい作品」等、誰もが知っている作家の展示だけでなく、認知度は低い、その作品が技術的に優れていたり、アイデアが素晴らしかったりと、ヒットした作品以外の作家の作品にもスポット当てて、展示コーナーで紹介します。                  ③交流体験スペース・閲覧コーナー                  常勤する作家経験者が個々の利用者の課題解決のためのアドバイス、サポートを行います。                  ④イベントの実施                  第一線で活躍する作家や高度の専門性を有する講師を招聘し、実際にマンガ制作に関わる多様な教室を定期的実施し、アマチュア作家の制作スキルのさらなる向上を図るとともに、教室やイベントの実施による施設の認知度向上・来場促進を図ります。</p>																

	<p>(ウ) 連携事業 新潟市アニメ・マンガ情報館と新潟市マンガの家両施設における利用者の回遊促進のため、両施設一体となった連携事業を年間最低5回実施します。</p> <p>(2) 付属事業 (ア) マンガ・アニメの資料の収集、保存に向けた調査及び研究 ・マンガ・アニメ文化を次代に繋ぐため、また、新潟市におけるマンガ・アニメ文化振興の一助として、新潟市とともに調査・研究に取り組みます。 ・マンガ原画の保存技術の確立（デジタル化等）を進めるための研究・調査も予定しております。</p> <p>(イ) 情報提供、広報・PR活動 *適切なメディアミックスによる効果的・効率的な広報宣伝活動の展開 ・アニメ雑誌等のマスメディアを活用した広報宣伝活動 ・パブリシティの活用 ・ホームページの活用 ・新潟市PRキャラクター花野古町・笹田五郎の活用 ・専門書店、同人誌即売会へのパンフレット設置、他県施設とのパンフレット交換等</p> <p>(3) 海外からの誘客促進に向けた取り組み 新潟開港 150 周年や東京オリンピックに向け、国内外からの交流人口の拡大や地域の活性化につなげた取り組みを行います。また、当施設のインバウンド効果を高めるべく、下記の取り組みに努めます。 ・Web サイトの一部を英文化 ・海外で人気の作品展開催 ・国内旅行業者との連携 ・香港ブックフェアへの出展や海外コミックコンベンションとの連携と検討</p> <p>(4) 自主事業 新潟発のオリジナル事業の展開 (ア) (イ) 新潟市マンガ・アニメ情報館、新潟市マンガの家 ・新潟発オリジナル萌えキャラクターの開発に向けた調査・検討 ・新潟発ゆるきゃらグッズの販売のための調査・検討 ・新潟限定グッズの販売 ・情報館・マンガの家共通事業（古町・団五郎関連グッズ販売）</p>
<p>3 管理運営に関する事業計画</p>	<p>(1) 組織（人員）体制・人材育成計画 新潟市マンガ・アニメ情報館と新潟市マンガの家を統括責任者のもと一元化した組織体制とします。また、施設毎でも業務責任者を配置し、業務責任者のもと一元化し、不測の事態に対応できる組織とします。 また、常に良質なサービスを利用者に提供すべく、サービス精神及び技術の向上に適した各種研修を実施するとともに、適切なフォローアップを行います。</p> <p>(2) 適正な事務事業の実施にかかる対策 施設に事務会計責任者、事務会計担当者を設置することで、複数人での多重確認体制を構築し、適正な事務事業を実現します。また、コンプライアンスの遵守、経費削減の意識を徹底し、それらを実現すべく運営に当たります。</p> <p>(3) サービス向上のための具体的な取り組み お客様アンケートや普段のお客様と職員との会話から利用者ニーズを的確に把握し、常に利用者目線に立ったサービス、プログラムを企画・検討し、提供します。また、実施した各種事業や取り組みについては、内部・外部でのモニタリング等を活用したPDCAサイクルによるさらなる改善を継続します。</p> <p>(4) 施設管理に関する取り組み 災害等予測できない事態に備えて職員全員が定期的な訓練や教育を徹底し、状況に応じた適切な対応が可能な危機管理体制を構築します。 また、誰もが安心・安全に施設を利用できるよう維持管理や清掃を適正に行います。</p>
<p>4 社会・地域貢献</p>	<p>(1) 市内産業及び市民の文化活動の振興に関する提案 新潟市マンガ・アニメ情報館では、流行しているマンガ・アニメにこだわることなく、後世に伝えたい作品なども数多く展示することで、新潟市におけるマンガ・アニメファンの定着や増加によるマンガ・アニメ文化のさらなる醸成や発展はもちろん、マンガ・アニメツーリズムの目的地として国内外から注目される一大都市として認知されるよう積極的な企画の実施、及び情報発信に努めます。 新潟市マンガの家では、「マンガ教室」を開催し、世代を超えたコミュニティを創造するとともに、シナリオ制作やマンガと日本古来の文化との融合を図ることで潜在的な利用者へ訴求し、将来的には「マンガの家発」のプロのマンガ家を多数輩出できるよう取り組みます。</p> <p>(2) 社会・地域貢献活動、環境保護等の取り組み 社会・地域貢献活動としては、新潟市マンガ・アニメ情報館、新潟市マンガの家が市民に愛され、親しまれ、市民との協働での施設運営を実現すべく両施設ともにボランティアの受け入れ、活動支援を行います。また、新潟市はもちろんのこと、近隣住民の皆様、近隣施設、その他関係各団体や専門家のご意見をうかがう機会を適宜設け、当施設の近隣住民及び近隣施設との連携を深めます。さらには障がい者雇用・社会参加の促進についても前向きに取り組みます。 環境保護への取り組みとしては、節電、節水、廃棄物の抑制等の省エネルギー及び3Rを実行し、省資源化に努め、日々進歩する環境負荷を低減する設備機器やエコ情報を検証し、効果のあるものの導入を進めます。</p>
<p>5 収支計画 ・単位：千円 ・（ ）は指定期間 トータルの額</p>	<p>(1) 収入 ・指定管理料 ( 308,575,000) ・雑収入 ( 0) ・自主事業 ( 120,000,000)</p> <p>(2) 支出 ・人件費 ( 90,630,000) ・事業費 ( 150,000,000) ・施設運營業務 ( 43,370,000) ・施設維持管理業務 ( 24,575,000) ・自主事業 ( 120,000,000)</p>